

Stay at Home.

新型コロナウイルスによる休校・休園により約3割の子どもが自宅で留守番をしています。

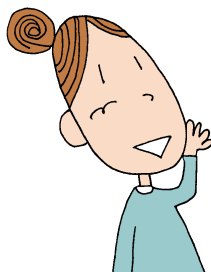
親のいない家で過ごす子どものころには大きなストレスがかかります。例えば、頭痛や腹痛、眠れないなどの身体症状が現れたり、落ち着きがなくなる、幼い行動をするなどの変化が現れます。そのようなときには、話に耳を傾けたり、抱きしめたり、一緒に運動をすることで安心に繋がります。

子どものころに大きなストレスが乗りかかる前に、心身の健康を保てるように予防しましょう。孤独を感じない社会を目指して、私たち日本予防理学療法学会は子どもたちを応援します。

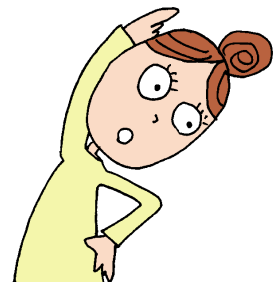
子どもたちを守るため



洗おう



伝えよう



運動しよう